

情報学委員会分科会の設置について

分科会等名：環境知能分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	情報学委員会
2	委員の構成	40名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	ウィズコロナ社会を含めて、新しい環境・生活様式に対応した社会システムの構築に向けて、人の多様性と包摂性を考慮して、サイバー・フィジカルな両空間で人と機械(ロボット、アバター、エージェント、IoTなど)が共生するために、必要となるこれからの情報学とは何かを提言する。人と機械の共生システムを次の要素技術に分類して、認知(五感、脳計測、学習など)、エージェント(知識、意図、計画、行為など)、アクチュエーション(移動、行動など)、インタラクション(会話、手話、ジェスチャー、身体性など)の研究課題を明らかにする。同時に、これらを組み合わせてできあがる人と機械の共生システムが、これからの在宅医療、感染症対策、障害者・高齢者支援、減災・復興、食、芸術・文化、エンターテイメントなどの分野で、どんな新しい生活様式の変革を起こし、社会実装・適応上で起こり得る新たな便益とリスクなども明らかにする。
4	審議事項	1. 新しい生活様式の変革のために情報学に必要なとされる機能、技術課題。 2. ウィズコロナ社会における生き残り と Well-being を支える、人と機械の共生システムの具体的なイメージ。 に係る審議に関すること
5	設置期間	令和2年10月29日～令和5年9月30日
6	備考	※委員構成の変更 所属希望者が多数だったため、委員の構成を変更する必要があるため。